

初心者にもエキスパートにも使いやすい定番ホームページ作成ソフト

ホームページ・ビルダー V9

日本アイ・ビー・エム URL <http://www-6.ibm.com/jp/software/internet/hpb/>

「HTMLを知らなくてもホームページが作成できる」がコンセプトの定番ホームページ作成ソフト「ホームページ・ビルダー」がバージョンアップした。デザイン面の支援機能がいっそう強化され、スタイルシートを使った凝ったデザインをボタン1つで作成でき、きれいなテーブルを作成するための機能なども新たに追加された。また、ユニコード対応で複数言語のホームページを作成する機能やウェブアクセシビリティ対応など、細かな配慮も行き届いたツールに生まれ変わっている。

CSSを使った複雑なレイアウトもボタン一発でデザイン完了

目玉の新機能が「スタイリッシュエフェクト」だ。自分でデザインしたページが何となく野暮ったいと感じていたら、一度試してみよう。詳しい知識がなくても、画面の指示に従って操作するだけで、既存のページデザインをスタイルシートに変換して、まるでプロがデザインしたかのような

ページに作り替えてくれるのだ。

ページを作るうえで嬉しいのが、画像などの素材もすべて統一感のあるものが用意されている点だ。せっかく雰囲気の良い配色ができていても、場違いな感じのボタンやロゴが並んでしまうとせっかくのデザインが台無しだ。そんなことがないように、素材の色使いもきちんと統一感のあるものになっているのだ。

優れているのはデザイン面だけでない。直観的なメニュー画面は理解しやすく、随所で「プレビュー」機能があるので、見栄えがどう変わるかを確認しながら制作できる。これなら初心者でも簡単に「匠の技」が使えるのだ。

オールインワンでデザインを楽しめるお買い得のホームページ作成ソフト

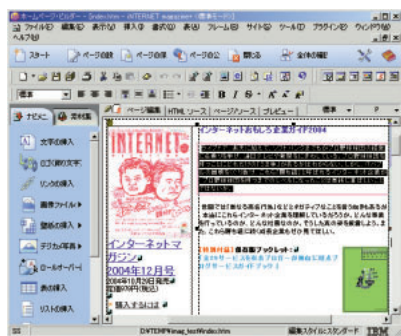
ホームページ・ビルダーは、初心者にとって非常に使いやすいツールだが、それだけではない。すべての機能がメニューに配置されている「スタンダード」モードに換

製品名	ホームページ・ビルダーV9
会社名	日本アイ・ビー・エム株式会社
価格(税込)	13,800円(通常版) 7,300円(バージョンアップ版) 9,400円(学割版)
主な仕様	対応OS: ウィンドウズXP/2000/Me/98/NT

えて、HTMLやスタイルシートを積極的に使いたい人には、初心者向けの編集支援機能をメニューに表示しない「エディタズ」モードが用意されている。より初心者に向けた「かんたん」モードは、デザインを細かく調節するための属性パネルなどの機能が隠されて、画像やリンクなどの部品を置くだけでページを作成できるシンプルなスタイルになっている。

そのほかにも、静的なウェブページだけでなく、ダイナミックHTMLを使った動きのあるページの作成や、動画の編集機能、レンタルBBSサービスと連動する掲示板の設置機能など、これでもかというくらいに実用的な機能が満載されている。きれいなページを手軽に作りたいユーザーには、価格の安さもうれしい。

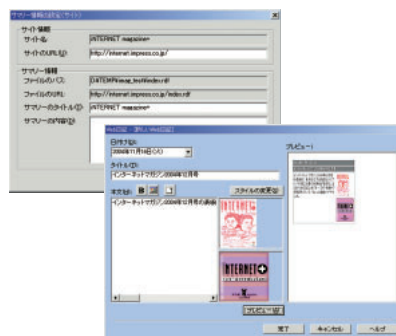
(梅垣まさひろ)



「スタンダード」モードの画面。画面左の「ナビメニュー」からページに追加したい要素や機能を選んで、中央の編集画面に配置していく。編集ウィンドウの上部にあるタブで編集画面、HTMLソース、プレビューに切り替えられる。



ページ作成ウィザードの初期画面。通常のパソコン向けのホームページだけでなく、各キャリアに対応した携帯用サイトも作成できる。作成済みのPC向けページを携帯用に一括変換する機能もある。



(左)RSSファイルもサポートしている。ただし、サマリーの内容は自分で作成しなければならないのが少々残念。(右)日記ページを作成するための、専用エディターが付属する。わざわざホームページ・ビルダー本体を立ち上げなくても、日記を更新できる。

ホームページ・ビルダーにアクセシビリティチェック機能を追加!

バリアフリー・エクステンション

株式会社インフォ・クリエイツ  <http://www.infocreate.co.jp/>

バリアフリー・エクステンションは、IBMのホームページ・ビルダーV8またはV9に組み込んで使える、ウェブアクセシビリティ診断・修正ツールだ。

ウェブアクセシビリティとは、高齢者や視覚に障害のある人でも問題なく使えるウェブサイトを作成するためのガイドラインだ。今年6月に「JIS X8341-3」として規格化され、国などの公共機関のウェブサイトはこの規格に従うことが求められている。このため「バリアフリー・エクステンション」の登場を、心待ちにしていたユーザーも多いだろう。

ホームページ・ビルダーと一体でアクセシビリティを点検&修正

JIS対応のチェックツールはすでいくつか開発されているが、オーサリングツールと連携してページのチェックと修正をシームレスに行えるものは少ない。オーサリングツールとチェックツールが連動していないと、チェックした結果に基づいてペ

ジを修正するのに手間がかかり、なによりもHTMLを理解したうえで、直接ソースを編集できるだけの知識が必要になってくる。

バリアフリー・エクステンションは、ホームページ・ビルダーのプラグインとして動作するため、すべての機能がホームページ・ビルダーから使用可能だ。

チェック終了後の結果表示ウィンドウで、見たい項目をクリックするだけで、問題のあるポイントがハイライト表示され、直接修正もできる。HTMLの知識がまったく不要とまでは言えないが、基本的な知識さえあれば作業はできる。

弱視の人に優しい配色や文字の見やすさ、音声読み上げブラウザを使う場合のアクセスのしやすさなどは、ホームページ・ビルダーV9に標準で付属するユーザービリティチェックツール「aDesigner」で行える。両者をうまく組み合わせて使うと、バリアフリー・エクステンションでチェックできない項目もカバーできるので、より安心できる。

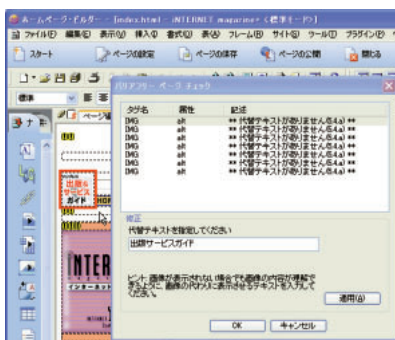
製品名	ホームページ・ビルダー対応版 バリアフリー・エクステンション
会社名	株式会社インフォ・クリエイツ
価格(税込)	29,800円(アカデミックバックあり)
動作環境	ホームページ・ビルダー V8以降に対応

チェック結果をページに表示できる「保証画像」の表示機能

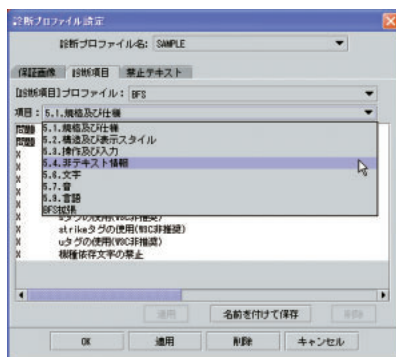
そのほかの特徴として「保証画像」がある。これは、ページをチェックした結果に問題がなかった場合、ページ上に自動的に点検済みであることを示すマーク = 保証画像を表示する仕組みだ。一度チェックしたページであっても、あとから変更を加えると保証画像が表示されなくなり、再び点検をクリアしない限り、保証画像は表示されないままとなる。

アクセシビリティ改善に取り組みたいけれど、HTMLなどの技術的な難しさのせいで作業ができずに困っているユーザーには、ホームページ・ビルダーの簡単さと併せて使ってほしいツールだ。

(梅垣まさひろ)



チェック結果の表示。画像ファイルのalt指定がないことが警告されている。このウィンドウ上で代替テキストを入力すると、自動的にHTMLソースが修正される。問題のあるポイントは赤い枠で強調表示されるので一目瞭然だ。



診断プロファイル設定画面。JIS X8341-3の第5章で規定されているチェック項目が並んでいる。診断する項目の組み合わせを変更してオリジナルの診断プロファイルを作成することも可能だ。[禁止テキスト]のタブでは、altに書いてはいけないテキストを指定できる。



aDesignerはホームページ・ビルダーV9に標準で付属しているアクセシビリティチェックツールで、バリアフリー・エクステンションと一緒に使えばさらに効果的だ。画像は弱視や色覚障害の人にはどのように見えるのかをシミュレーションしたものだ。音声読み上げブラウザへの対応も調査可能。

ケータイからパソコン向けのウェブサイトをチェック！

jig ブラウザ

株式会社 jig.jp  <http://jig.jp/>

jig (ジグ)ブラウザは、iアプリやEZアプリの形で提供されている携帯電話専用のウェブブラウザだ。

最近の携帯電話はほとんどの機種が標準でブラウザを搭載しているが、表示できる文字数や画像の大きさに制限があるため、基本的には携帯電話向けに作られたウェブページしか見られない。jigブラウザは、その制限を取り払ってしまい、PC向けに作られたウェブページを携帯電話でも閲覧できるようにしたウェブブラウザなのだ。

携帯電話の画面に合わせて複数の表示機能を使い分け

PCに比べると携帯電話の画面は小さいし、マウスのような操作性の高いポインティングデバイスもない。しかし、そうした違いを乗り越えて携帯電話で快適にウェブページを見るために、jigブラウザはさまざまな工夫が凝らされている。

基本操作は、ポインターを上下左右の

カーソルキーで操作する。ポインターの動きに合わせて画面も上下左右にスクロールし、スクロール時の画面描写は高速だ。ポインターの動作も、最初はゆっくりだが、ボタンを押し続けると動きも速くなる。

画面の表示も、携帯電話の画面におさまる一部分だけを表示させる「パソコンモード」と、左右にスクロールせずに縦スクロールだけで読めるように画像を縮小してページ構成を変更する「ケータイモード」が用意されている。さらに補助として、ウェブページの全体像を縮小して表示する「縮小ビュー」と、画像を非表示にしてテキストだけにする「文章ビュー」といった機能もあり、ページの内容や用途に応じて表示方法を変えられる。

通信データが膨大な量に使いこなすには定額制が必須

ただし、jigブラウザですべてのウェブページが見られるわけではない。スタイルシートやJavaScriptには現在のところ一部

製品名	jigブラウザ
製造元	株式会社 jig.jp
利用料金 (税込)	月額1,050円 (年間一括払いなら年額6,090円)
対応機種	ドコモ: FOMA 900iシリーズ、AU: W11H /W11K/A5403CA/A5406CA/A5407CA

しか対応しておらず、Flashや動画などのリッチコンテンツにも非対応だ。

jigブラウザを使いこなすための最大の問題は通信料金だ。PC向けのウェブページは画像が多く、1ページ見るだけで数百円分の通信料金が掛かってしまうこともある。定額制の料金プランを利用しないと厳しいだろう。

乗り換え案内やニュースなどのアクセスする機会が多い情報サービスは、携帯電話向けにも提供されているので、ちょっとした調べものならばjigブラウザを使うまでもない。しかしメーカーの製品情報や個人制作のサイトなどは携帯電話からアクセスできないものが多い。そうしたサイトを外出先からでも使いたいユーザーにとっては、jigブラウザは最強のツールとなる。

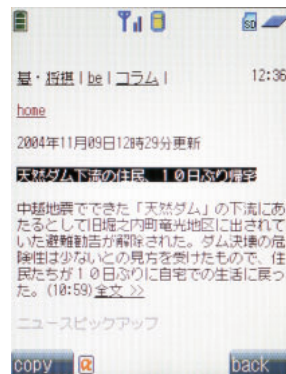
(白根雅彦)



「パソコンモード」の表示画面(左)と、それを「縮小ビュー」に切り替えたときの画面(右)。PCのブラウザに表示させたウェブページの一部分を携帯電話の画面サイズに切り取ったような表示になる。携帯電話の画面よりテキストの1行が長くなることも多いため、じっくり文章を読むのには向かない。



「ケータイモード」(左)ではテキストを横スクロールなしで読めるように、画面の横幅に合わせてデザインが変更される。「縮小ビュー」(右)で見ると、ページ全体でテキストの折り返し幅が統一されているのがわかる。画像はjig.jpの中継サーバーが縮小するため、通信量が減るメリットもある。



「文章ビュー」では、縦スクロールのみで全体を読めるように、ウェブページが縦長に整形される。携帯電話向けウェブページと同じような表示だが、動作は携帯電話の標準ブラウザよりも速いらしい。

最大5台のUSBハードディスクをLANで共有する!

USL-5P

株式会社アイ・オー・データ機器 <http://www.iodata.jp/>

「USL-5P」はUSB接続のストレージデバイスをLANにつなぎ、ネットワークで共有するための製品だ。アイ・オー・データ機器からは「LANDISK」というLAN接続型のハードディスク製品が発売されているが、この製品からネットワーク機能を取り出したようなものだ。手元にあるUSBハードディスクを手軽にネットワークで共有できる。

LANケーブルとUSB HDDをつなぐだけで ファイルサーバーになる簡単さが魅力

厚めの文庫本サイズのコンパクトなボディには、5つのUSBポートとLANポートが備わっている。ここにUSBハードディスクとLANケーブルをつないで電源を入れる。するとネットワークでつながったウィンドウズマシンの「マイネットワーク」に「Usl-5p」というコンピュータのアイコンが現れ、ほかの共有フォルダーと同じようにデータの読み書きができるようになる。

USL-5PはFATでフォーマットされたハードディスクに対応し、すでにデータが保

存されているハードディスクであってもそのまま使用できる。NTFSでもデータの読み込みだけは可能で、書き込みたいなら改めて専用形式でフォーマットし直すこともできる。

USL-5Pの設定はブラウザから行う。ブラウザのアドレス欄に「usl-5p」と入力すると設定ページが開き、動作状況の確認や各種の設定を行う。ハードディスク単位でアクセス制限や、マイネットワークに表示される共有名の変更が可能だ。

容量が足りなくなってきたら ハードディスクをUSBに接続するだけ

5つのUSBポートを持つことからわかるように、最大5台のUSBハードディスクを接続できる。動作が保証されるのはアイ・オー・データの製品だけだが、USBマストレージクラス対応であれば他社製品でも問題なく動作した。

また、メモリーカードリーダーやデジタルカメラもつなげられる。コピーボタンを押

製品名	USL-5P
会社名	株式会社アイ・オー・データ機器
価格(税込)	16,590円
主な仕様	100BASE-TX/10BASE-T対応LANポート×1、USB 2.0ポート×5(パスワード対応) 電源: ACアダプター、対応OS: ウィンドウズXP/2000/Me/98SE

すと、前面のUSBポートに接続した機器から、背面USBポートにつないだ機器へデータをワンタッチでコピーできるという、ユニークな機能もある。

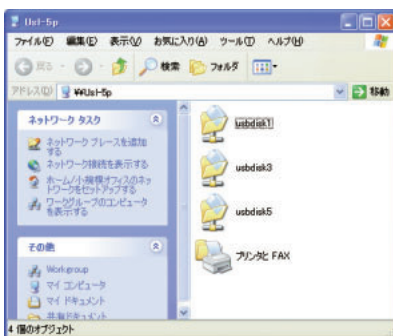
小規模なLANでデータを共有するだけなら、大がかりなパソコンを使わなくてもファイルサーバーとして使える。USL-5Pの消費電力は最大10Wと小さいため、ファンレスで静かなのが魅力的だ。

難点があるとすれば読み書き性能だろう。テストでは、PCから100MBのファイルを書き込むのに約20秒かかり、同社のLANDISKよりも1~2割ほど遅かった。だが、ディスク容量が足りなくなっても簡単に増設できるという点は、多少の転送速度の遅さを補って余りあるメリットだ。

(佐々木康之)



前面のUSBポートにメモリーカードリーダーやデジタルカメラをつなぎ、コピーボタンを押すと、背面のUSBポートに接続されたハードディスクに日付のフォルダーが作成され、その中にデータがコピーされる。



マイネットワークを開くと「Usl-5p」というアイコンが現れる。複数のUSB記憶装置をつないだときは、その数だけ共有フォルダーが現れる。「usbdisk x」とあるのは接続したポート番号を表している。



各種の設定はブラウザを使って行う。USL-5Pに割り当てるIPアドレスや共有名を変更できるほか、アクセス権やコピーボタンの動作、自動バックアップ、省電力機能の設定などができる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp